

松 風

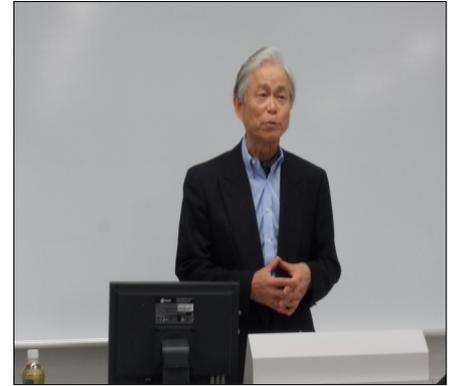
■発行所 流通経済大学校友会 tel 0297-64-0001
 ■〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市平畑 120
 ■発行人 佐藤 克實

平成 26年度 総括幹事会開催

第 3 回

平成27年2月21日に新松戸キャンパス502教室にて、本年度最後となる第3回幹事会が開催された。幹事、事務局40名が出席された。まず、佐藤会長より挨拶があり、次に各議題について審議に入りました。年度末ということで例年通り、本年度決算、次年度事業計画および予算等が主として審議されました。

全般に亘っての主な内容は50周年記念事業関係となりました。



審議事項

1. 平成26年度校友会決算見込み
事業実績の報告と決算額見込みの報告
2. 平成27年度事業計画及び予算案について
別表の如し
事業内容及び予算額についてはほぼ例年通りである
額の大きい事項について
行事費——卒業記念品代、
但し後援会と折半
会議費——7割前後が支部
総会」関連費用、中でも4割程度が案内通信費。幹事会開催関連が2割ほど。活動活性化と共に増えつつある。
諸行事援助金——在学生運動部の祝勝会等支援

支部活性化について議論があった——未組織県を広域単位で括って対応する

広域圏の出先支部の扱い

3. 校友会幹事選出に関して
平成28年2月に幹事、役員（支部幹事を除く）の改選がある。その手続きについての報告——ホームページで告示する
4. 創立50周年記念行事関連
大学実施分——50周年募金、50周年史の作成、記念式典
11月13日於帝国ホテル、ホームカミングデイ（詳細未定）、各種イベント、グッズについて報告
関連して——校舎等の施設整備について報告（新松戸新校舎建築、龍ヶ崎旧A館解体）
校友会実施分——留学支援、国際交流事業支援、社会貢献活動支援、正課支援（以上在学生向け）研究過程進学者支援、会員記念文集作成、50周年祝賀会祝い金等——通常予算外で800万円程度を予

- 定、複数年度をかけて実施
特に大学創立50周年記念エッセイ集「つづくよかぎりなく」について本年中に発行予定なので応募、編集方針について原案が示され討議され原案どうり承認された。
5. 校友会内部留保金の運用について
効率的な運用も必要ではとの提案があり審議され、種々意見が出された。
リスク回避、運用変更に伴う損失も考慮など指摘事項を付けて、事務局一任とした。
6. 平成27年度幹事会日程について
5月23日 9月12日
2月20日。但し9月予定分については周年記念事業と絡ませて実施したいので、5月に確定し報告する。

報告事項

今後の支部総会の開催予定について報告と聴取があった。

平成26年度決算・27年度予算（案）

項目 (単位千円)		26年度実績		27年度予算	
		内訳	計	内訳	計
前年度繰越			209929		215216
収入の部	会費収入	13010		12300	
	利息収入	35		375	
	雑収入	50			
収入計			13095		12675
支出の部	運営活動費	行事費	2268	2268	
		会議費	3774	6662	
		広報費	351	444	
		事務費	17	150	
		雑費	49	18	
		小計		6461	9542
	援助費	大学祭援助費	580	760	
		諸行事援助費	767	1000	
		小計		1347	1760
	50周年記念事業費				8000
支出計			7809		19302
翌年度繰越			215216		208589

50周年記念事業費（内訳）

留学支援費	1000
欧米豪留学	
国際交流事業支援費	2500
国際交流事業のバックアップ	
社会貢献活動支援費	500
社会貢献、	
正課支援費	500
正課の活性化	
研究課程進学者支援費	500
校友会会員への奨学金	
記念文集成成費	2000
50周年記念祝賀会祝い金等	1000

平成 27年度 幹事会開催 第1回

平成27年5月23日に新松戸キャンパス502教室にて、本年度最初となる第1回幹事会が開催された。役員および幹事31名、事務局5名、オブザーバー1名が参加されました。まず、佐藤会長より挨拶があり、次に各議題について審議に入りました。年度はじめということで例年通り、前年度決算（報告、承認）、本年度事業計画および予算等が主として審議されました。また当日当キャンパスにて埼玉支部総会が開催され会議終了後合同の懇親会が開催され賑やかな会合となりました。地方支部幹事も自分とは違う地域の会員と意見交換ができて有意義なものとなりました。



審議事項

1. 平成26年度決算報告及び監査報告
各々担当より報告され了承された。(数値は別表)
2. 平成26年度校友会活動報告
新年度に入ったので昨年度の活動を総括するとともに新年度の事業計画と取り組みについて再確認した。
3. 創立50周年記念行事について
本年度より本格的に始まる記念行事について具体的な内容の報告と検討がおこなわれた。
—大学として—
*大学主催 祝賀会 11月13日 帝国ホテル 校友会は役員のみ出席
*ホームカミングデイ開催 12月5日 幹事会同日開催

- 総会も開催 場所未定 30周年は龍ヶ崎で実施 新松戸ではスペース不足か
- *広報誌の発送 会員30期までの17000名
 - *50周年記念事業予算 60億円 うち寄付金目標 10億円(会員に限らず)
- 校友会として—
- *在学生の正課上での学習活動、研究発表にたいする支援——年間5~10件程度、1件上限10万円程度、申請し選考委員が決定する。
 - *学生の自主活動を支援する奨学金——‘RKUスピリッツ応援奨学金 社会貢献——地域貢献、ボランティアなど一部行われているがより発展的に年5件程度上限10万円の範囲で
 - *50周年記念エッセイ集について現在、30数稿きている。100~150稿予定。公募もしているが対象を絞ってお願い

もしている。6月中頃を仮の締めとし、本年中の発行を予定している。

4. 大学評議委員の選出について
任期2年、OB推薦枠の選出——現評議員再選で了承された。
佐藤克實、石川元亨、堀内淳弘、渡辺佳昭、田中博也、伊達和夫各氏
 5. 支部総会開催予定
50周年記念年ということでその意義を深め、事業への理解と参加を促すため多くの支部で総会の開催を期待された。既に予定された地区と新たに計画されたところが報告された。
- その他
クラブ活動の活躍状況などが報告された——野球部のリーグ優勝など

埼玉支部・幹事会合同懇親会



校 友 の 広 場

台湾支部総会

1月23日（土）18時より 台北市
三合院港式餐厅

台北市の太平洋SOGO台北忠孝館11Fの三合院港式餐厅において、流通経済大学校友会台湾支部総会が開催されました。今回の総会は、3年ぶりの開催となりましたが、当日は、台中市にある静宜大学との学術交流協定締結のために訪台していた、小池田学長を始めとする大学関係者や田中校友会副会長が出席され、多くのOBとの旧交・親睦を深めるとともに、盛会のうちに終了しました。

当日の出席者（16名）は、以下のとおり。
（敬称略）

【校友会台湾支部】

陳 池元（支部長 14期）、李 光正（14期）、呂 佳霖（19期）
廖 金明（20期）、林 錦徳（20期）、林 江和（20期）
明國（21期）、高岡幹夫（22期）、劉 俊雄（22期）
馬越太郎（31期）、鄭 世雄（36期）

【大学関係者】

小池田富男（学長）、松田 英（国際交流センター長）
田中博也（校友会副会長）、梶谷明弘（台湾日通戦略営業部次長）
黒田義一（事務局 8期）

観光クラブ総会

3月7日（土）17時より
新松戸キャンパスのGINZA SUEHIRO

新松戸キャンパスのGINZA SUEHIRO（学生食堂）において、流通経済大学観光クラブ総会・懇親会が開催されました。

このクラブは、本学社会学部国際観光学科の卒業生で、現在でも観光業界で活躍する方々を中心とした組織であり、毎年3月に総会・懇親会を開催し、今年で16回目を迎える。

2009年4月に校友会の職域支部として承認され、例年、会員である卒業生のほか、国際観光学科の教員、教員OB、在校生（3・4年生）らが多数参加しており、情報交換や会員相互の旧交・親睦を深める絶好の機会となっている。

殊に、就職を間近に控える在校生にとっては、諸先輩との交流によって、業界の動向や仕事に対するアドバイスを直接受けられる場となっており、盛んに質問をしている姿も見受けられた。

校友会からは、佐藤会長のほか、田中副会長と事務局の黒田が出席し、今回の参加者は総勢で74名となった。

懇親会では、来賓である小池田学長や佐藤校友会長からご挨拶をいただき、恒例のお楽しみ抽選会では一喜一憂があるなど、盛会のうちに終了した。

本学も今年50周年を迎えることになり、校友会からは、ホームカミング・デーを開催することとしているが、本学としては今回のような会合に限らず、卒業生が気軽に大学に来られるような環境づくりも必要と感じている。



Copyright(C) 流通経済大学校友会 All rights reserved.



Copyright(C) 流通経済大学校友会 All rights reserved.



Copyright(C) 流通経済大学校友会 All rights reserved.

校 友 の 広 場

埼玉支部総会

5月23日（土）14：00～17：00
新松戸キャンパスにて 6F 603教室

参加者

渡邊 佳昭（支部長代行 2期）、石川
元亨（1期）
鶴屋 千法（2期）、西原 淳一（6
期）、長谷川祐司（12期）
太田 健輔（13期）、加藤 正和（16
期）、郡司 昭夫（19期）
荒谷 晃吉（26期）、松本 宏之（26
期）、吉野 龍司（28期）
向笠健太郎（29期）、永野 剛（37
期）
黒田 義一（事務局 8期）、宮本
敏郎（事務局 14期）（計15名）

議題

渡邊埼玉支部長代行の司会進行により、
以下のように進められた。

1. 開会の挨拶

渡邊支部長代行より、開会の挨拶と本
日の総会に至る経緯について報告があ
った。

2. 大学及び校友会の現状

続いて、校友会事務局の黒田から、大
学創立50周年記念に関する大学と校
友会の事業計画等について説明すると
ともに、今春、全日本大学選手権出場
を決めた硬式野球部、昨年のサッカー部
およびラグビー部等の活躍について報
告した。

3. 審議事項

(1) 支部長の選出について

渡邊支部長代行より、校友会（本部）
の会長や副会長を輩出した由緒ある埼

玉県であるが、未だに支部長が決まっ
ていない。

これまで支部長代行としてやってきた
が、体力的・健康面でも限界があるの
で、是非とも本日よりご列席の皆様の中
からご推挙いただきたいとの説明があ
った。

この件については、本総会では決まら
ずに継続審議とされたが、懇親会の席
上で指名され、下記のとおり決定した
との報告があった。

・ 支部長 西原 淳一 氏
（さいたま市在住 6期）

・ 副支部長 永野 剛 氏
（戸田市在住 37期）

(2) 自己紹介

続いて、本日の出席者による自己紹
介が行われた。

(3) その他

時間の関係もあり、新松戸キャン
パス見学の後、懇親会に移った。

本日の懇親会は、校友会幹事会が同時
開催であったため、合同懇親会として3
FGINZA SUEHIRO（学生食堂）において
開催され、50名を超えるOB・OGが参加
し、久方ぶりに盛況な会合となった。



懇親会風景は 3頁に掲載

千葉支部総会

青春祭
新松戸キャンパス

青春祭で盛り上がる新松戸キャンパスで校
友会千葉支部総会が開催されました。

7期生の仁平幹事が進行を担当し、佐藤校
友会長、溝上支部長の挨拶、事務局より大学、校
友会の現状、会計報告などがありました。総会
終了後新松戸ステーションホテルで懇親会を行
い、40名を超える校友会員が当日活躍中の硬
式野球部の話題や思い出話で大いに盛り上が
りました。



みちのく 山形 合同支部総会

7月18日（土曜日）17時～ 仙台市
ガーデンパレス 日本料理 楓

【出席者（敬称略）】

瀬川（1期）我妻（1期）岩田（4期）五十
嵐（4期）渡邊（5期）
小原（7期）西方（12期）佐藤（13期）
小野寺（15期）味上（21期）
堀（22期）北田（27期）猪俣（32期）
渡辺（32期）関（34期）
松田（42期）加賀（13期）伊藤（15期）
本部から田中副会長（4期）齊藤事務局（7
期）以上20名出席
1期生瀬川氏からラグビー部創設時の貴重な

お話を戴いた。

田中校友会副会長より校友会の活動 特
に正課の教育支援や地
域貢献ボランティア等
の学生自主活動に対
して助成について説明
があった。

小野寺さんの乾杯の
音頭で宴席に入り、齊
藤事務局から野球部
の活躍を含む母校の
今日の話があり、出
席者から在学中の思
い出、そして現在の
自己紹介があり中締
め後も2次会

と大盛り上がりの支部総会となりました。



校 友 の 広 場

中国東支部総会

6月28日、ニューウェルシティ出雲

中国東支部総会が（鳥取、島根、岡山）が開催されました。

【参加者】

中尾増一郎支部長（S44年卒） 左次耕夫副支部長（S44年卒）
吉岡孝（S45年卒） 永田泊（S45年卒）
川上一郎（S47年卒）
松原治夫（S48年卒） 今井俊夫副支部長（S49年卒）
小林啓（S57年卒） 尾崎正長（S63年卒） 加藤基秋（H3年卒）
仲田敦美（H5年卒） 本部から佐藤会長、齊藤事務局

【議事】

加藤基秋氏の司会で総会が進められた。中尾支部長から中国東支部の現在について挨拶があり、佐藤会長から校友会としての現役学生への支援活動や野球部の活躍などのお話があった。

中国東支部としての昨年度の活動報告、

今年度の事業計画について議事が進められた。また29年度以降の役員や支部の体制についても活発な意見交換がなされた。

【懇親会】

校友会中国東支部旗の前で記念撮影を行い、左次副支部長の音頭で「乾杯」懇親会となった。齊藤事務局より大学の今と校友会の現状の報告があり事務局持参のアルバムを回しながら50周年を迎えた母校の話題で盛り上がった。今井副支部長の挨拶で中締めとした

新潟支部総会

7月25日（土曜日）12時～
新潟駅前 クオリスビル 5階「信濃川」

前日まで暑い日が続きましたが、当日はそれでも少し暑さが緩んだように感じられました。以前は11月に開催したこともありましたが、新潟の11月は冬の入りで天候が崩れることが多く出不精になりがち、それなら多少暑くても7月の方が気分が良いだろうということで最近7月に開催することにしました。また本年は大学開学50周年記念年にあたることもあり、校友会も大いに盛り上げようということで開催されました。

【出席】

今回は支部会員15名、本部よりの来賓 2名の計17名での開催でした。

例年参加の3、4名の方が、たまたま所要と重なり欠席となり残念でした。また例年ご協力いただいている日通関係者も業務と重なり、2名の参加となりました。しかし新しい会員3名と、女性の会員2名の参加もありフレッシュで華やかな会となりました。

【本部】

田中副会長（4回卒） 齊藤事務局長（7）

【支部会員】

三浦（1 顧問） 関（2 副支部長） 星（3） 捧（4 支部長） 平澤（7） 関崎（9） 佐藤（11） 和田（12 副支部長） 引場（20） 田村（23） 梅沢（26） 五十嵐（32） たけた（33） 須貝（34） 塚野（47）

【議事】

1. 捧支部長より 開会の挨拶、来賓紹介、支部役員紹介。
2. 本部来賓挨拶と報告（資料配布）
・ 田中副会長より 校友会本部活動報告、50周年記念事業への取り組み（現役学生への各種支援---正課の教育支援、地域貢献ボランティア等学生自主活動助成など、）また最近の御自身の海外事情把握の経験から、学生の国際化

への取り組みの必要性等のお話があった。

・ 齊藤事務局より 大学の現状（学生数、龍ヶ崎、新松戸キャンパスの状況）学生クラブ活動の活躍（野球、サッカー、ラグビーなど）50周年事業関係---新松戸新校舎建設、龍ヶ崎校舎一部改築、各種イベント日程などの報告があった。50周年記念ロゴ入りのタオル（各人へ配布）の説明もあり、現物に触れ感慨が増した。

3. 新潟支部の現状---（資料配布）---捧支部長より

会員数について 現在390名前後、ここ数年、年3、4名の増加で固定化してきている。総会案内の返信率も25パーセント強で他支部と同じ傾向である。ただ最近の返信記事に現役退職、無職とかが目立ってきた。この方々の参加を促せないか。会員から、もう少し地道な情報発信の必要があるのではとの意見もあったこと。また事務報告として総会開催に係る経費負担等についての説明があった（本部よりの支援の再確認 通信費、開催援助金---及び使途）。

【懇親会、自己紹介、意見交換】

12:35～

予定時間となったので、あとは懇親会と並行して進めた。

三浦顧問より乾杯の音頭、

しばらくして、自己紹介（今回は若い人から順に）、自己の現況報告など、1時間ほど。のち席を自由にしての交流会となった。昔の龍ヶ崎の話題などおおいに盛り上がった。ただ現役真最中の若い人と引退後世代との現実生活の話では世代差がみえた。しかしこれもお互いに人生勉強。利害関係なしで話を交わせる場がもてることが有意義だ。

2時間もあっという間に過ぎた。例年締めは日通関係者ということで、引場氏に一本締めで締めてもらって閉会となり、次回の再会を約したのであった。 14:25

とはいえ、まだ陽は高い、このままではどうもまだ表に出れないとか、訳の分からない理屈でもう一杯だ。

ということで、当ビル地下1階の居酒屋に河岸を移し2次会となった。所要があり帰られた人以外が参加し、そこは単なる飲み会の場となった。話題は四方八方に飛び、尽きず、またまた大盛り上がりとなり新潟の夕べは過ぎていったのであった。



校 友 の 校 広 場

四国支部 高知県在住者 支部総会

9月12日 12時開宴
土佐御苑

四国支部の高知県在住者対象に支部総会が開催されました。

【出席者】

1期 山崎 2期 松永四国支部長 5期 永森 6期 加藤 15期 川谷 23期 戸田 1期 佐藤校友会長 7期 齊藤事務局 8名出席(敬称略)

【佐藤会長】

校友会の開学50年事業として正課授業、ゼミ、学生の自主的な社会貢献活動などに対して支援を行っている。またグローバルに活躍できる人材育成を目的として、留学生支援や海外の提携校から学生を招き交流会を開催する計画もある。校友会の目的、「卒業生の親睦」「母校の発展に寄与」この2つをこれからも進めて行く。

【松永四国支部長】

現在高知県には53名の校友会員が登録されている。初めての試みで高知支部総会を開催した。佐藤会長、齊藤事務局を含め8名出席となった。北海道支部も釧路、函館と遠隔地は分会として開催している。今後も集まれるようにしていきたい。

【懇親会】

各自の自己紹介、事務局から校友会の現状と母校の今日の説明があり、四国の郷土料理と各人の在学時代の思い出話で盛り上がり、加藤四国副支部長が中締めの後も名所「はりまや橋」あたりで2次会へと続いた



中部支部総会

9月27日(日)
名古屋市千種区 メルパルク名古屋

中部支部総会が開催されました。

【参加者】 敬称略

諸橋俊幸(2期生) 種田隆支部長(3期生) 森本理介(4期生) 向笠賢太郎(29期生) 佐藤克實会長(1期生) 齊藤哲三郎(7期生)

【総会】

◎種田支部長より

現在、中部支部は愛知県、岐阜県、三重県で226名の校友会員がいます。今回は参加率が良くなかったが、返信を戴いた方を中心に参加者を増やせる方法を考えていきたい。

◎佐藤会長より

校友会で行っている在校生の自主的な社会貢献活動支援や、正課授業発表会に対する褒賞、海外留学助成などについて説明。また野球部の活躍や校友会のホームページについてのお話があった。

◎齊藤校友会事務局より

大学の現状について、在校生数、新松戸と龍ヶ崎キャンパスの今日、女子学生の活躍、新松戸に建設中の新校舎など説明。

【懇親会】

3時過ぎから懇親会に入り今年の埼玉支部総会にも参加し、岡崎市に転勤中部支部デビューとなった向笠氏をはじめ、各自自己紹介。齊藤事務局が所属していたサッカー愛好会(サッカー部の前身)の太刀川先輩(4期)が森本氏の友人と分かりその場で電話するなど、和気藹藹、楽しい時間を過ごし諸橋氏の挨拶で中締めとした。



福島支部総会

10月3日(土) 16時～
福島駅前 ザ、セレクトンホテル

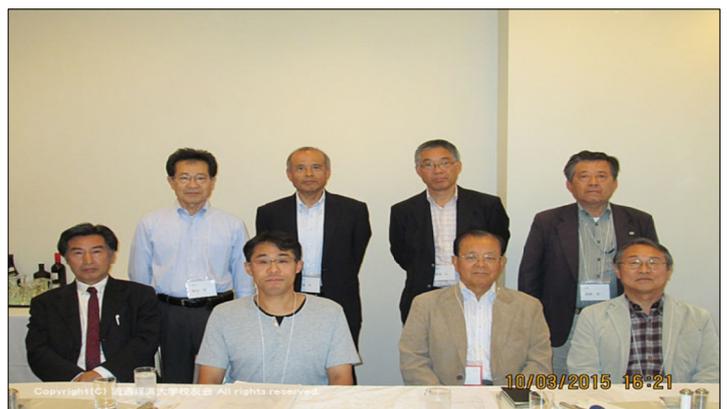
福島支部総会が開催されました

【参加者】 敬称略

片岡義栄(5期) 穂積太(5期) 齋藤章(5期) 新井和人(9期) 齋藤恵二(9期) 鈴木三千夫

(29期) 柴田敬一支部長(8期)
本部から田中副会長(4期)

田中副会長より母校と校友会活動の現状の説明がありました。県内各所よりご参加いただいた6名の各自己紹介、千葉から参加の新井氏の活動報告などがあり、同窓生同志、時代を越えた流大話で盛り上がりました。特に、今回は郡山市での開催を希望する声がありました



校 友 の 広 場

南九州支部総会

10月17日(土) 16時集合～
ANAホリディインリゾート宮崎

【参加者】(敬称略)

1期生 野中憲二、松元洋一 3期生 下田正人、増田俊男 4期生 井島功一、松葉輝幸、井上博、棟久眞次、6期生 黒葛原哲、7期生 鶴丸文一(幹事) 齊藤哲三郎(事務局) 35期生 齋藤有史

総会、18時より「団欒の間」校友会現状と母校の今について事務局より報告があった。熊本県は単独開催も可能との意見が出た。

懇親会、18時半より「ひむかいの間」1期生の松元氏より「ラグビー部」3期生の下田氏より「剣道部」各創設期の貴重なお話が聞けた。各自の自己紹介、定年後、薬剤関係の資格を取られた方、町議会議員になられた方、いろいろな校友と楽しい交流の時間を持つことができました。

南国宮崎のすばらしいロケーションの中での支部総会であったことをご報告します



神奈川支部総会

11月24日(土) 16時～
横浜駅前「加登家茶屋」

【参加者】(敬称略)

1期生 廣瀬、軍司、道口、四十井 2期生 愛場、池田、千品、仲浜、広瀬(秀) 森 3期生 長田、小林、増澤、川合 4期生 杓、中台 5期生 成瀬 10期生 叶野 11期生 秋山 13期生 對木 14期生 長谷川 21期生 松田 22期生 武藤 32期生 菅原

本部 佐藤会長、齊藤事務局
開会の挨拶 愛場副支部長

神奈川支部総会第四回の開催となる、675名の校友がおりそのうち140名から返信がありました。24名の出席で開催します。

広瀬支部長挨拶

大勢の出席で感謝しています。大学も今年50周年を迎えました。校友同志で楽しい時間を共有したい。

佐藤校友会会長挨拶

校友会では全国で支部総会を開催している。若い方も出席するようになってきた。また、校友会として「母校の発展に寄与する」と言うもう一つのテーマに対して学生が行う社会貢献活動や正課授業のアカデミックな部分にも支援を実行中。南オレゴン大学の学生を招き英語力アップの交流会も企画している。

会計報告

小林会計担当から報告があった。

役員改選

広瀬(秀)支部長から前回の役員改選から3期6年が経った。今回の支部総会で改選を行う旨の説明があり、下記のように新役員体制が満場一致で決定した。

支部長 増澤(3期生) 副支部長 中台(4期生) 幹事 成瀬(5期生)

幹事 叶野(10期生)

懇親会

齊藤校友会事務局より、校友会の現状と大学の今についての話があり、各自自己紹介も進む中、恩師の話題、寮やクラブ活動の思い出などで大盛り上がりの会となりました



秋田支部総会

10月31日～11月1日
あいの温泉鶴ヶ池荘

【参加者】(敬称略)

我妻実支部長(1期) 佐藤尚副支部長(1期) 大山文俊(4期) 佐藤信治(4期) 高橋満(4期) 高橋義和(4期) 北島良栄(4期) 藤原哲博(6期) 一関勝彦(6期) 村上淳(30期)

佐藤克實校友会会長(1期) 瀬川光蔵校友会総務委員長(1期) 小原文男みちのく支部長(7期) 齊藤哲三郎事務局(7期)

我妻支部長から

今年は宿泊での支部総会としたが昨年と同数の参加となった。返信率は25%弱、来年も場所を変えて開催していきたい。

佐藤校友会会長

大学創立50周年記念事業として、学生の社会貢献や学習、研究に対する支援などを行っている。一例として南オレゴン大学から学生を招き、英語で交流する企画も来春学期に開催する。

齊藤事務局から校友会の現状と大学の今についての説明があった。

懇親会

佐藤副支部長の乾杯の音頭で懇親会となった。各自の近況報告、来年の開催地の話で盛り上がり、館内の居酒屋に席を移しての2次会も時間制限の11時まで続いた



校 友 の 広 場

北陸支部総会

10月17日(土曜日) 18時15分
ANAクラウンプラザホテル金沢
5階「日本料理 雲海」

今回の北陸支部総会は、初めて石川県金沢市にて開催した。

北陸支部は、富山県・石川県・福井県の三県在住者を対象としておりますが、総会開催地は出身者の多い富山県富山市での開催が主でした。

総会参加者人数を心配しておりましたが15名の参加があり校友会佐藤会長を含めて16名と大変楽しく充実した時間を過ごす事ができました。

初参加が3名で内 石川県在住者では2名と金沢での開催の成果が出たと判断するとともに、富山県在住者の参加が前回7名から2名増と嬉しく思っております。

これは、過去案内の返信者全員に暑中見舞いとして開催期日を事前にお知らせした効果もあったように思っております。

尚、今後の課題は福井県在住者の参加推進です。

来年も皆に会いたいと思われる校友会を皆目指します。

谷口 豊(17期)さんの司会にて総会、懇親会を進めました。

【総会】

- 1, 北陸支部長挨拶 日野支部長

前回課題に関する報告

- ・ 参加者増 推進対策
 - ・ 佐伯学園長の招待の件 報告
- <課題の提起> (自己紹介の時間にて発言)

参加者推進への対策
各自意見要望等の発表
校友会、大学への要望
2, 校友会会長挨拶 佐藤会長
校友会近況に関して
50周年行事に関して
大学及び部活動の近況

【懇親会】

- 3, 乾杯の挨拶 西田 一期生
- 4, 自己紹介 全員
思い出、近況報告等及び
及び上記課題に関する意見
- 5, 締め挨拶 廣上 一期生
- 6, 校歌 全員
- 7, 集合写真撮影 全員

参加者16名中3名が初参加ではありましたが、以前からよく知っているような雰囲気の中で楽しい宴会がスタートいたしました。部活動の思い出、就職活動の苦い思い出、就職先での先輩後輩との思い出、職場での出来事など、思い出とともに現在進行形での自己紹介も多くなり、且つ校友会発展への思いを語るなど回を重ねるごとに雰囲気も良くなっております。

校友会のHPを閲覧されている北陸在住の方は、是非2016年度は参加して下さい。

北海道 道東 支部総会

11月14日(土)18:00~20:00
醍醐 釧路市錦町

・ 参加者

伊関義和(支部長5期) 武者啓一(2期) 辻信行(6期)林康夫(北海道支部長7期) 金子英雄(12期) 日野渉(12期)福津博巳(14期) 山本浩晶(24期)
佐藤克實(校友会会長1期)宮本敏郎(事務局14期)

・ 内容

(1) 支部長挨拶
支部長伊関氏より、開会の挨拶と東北北海道支部の現状報告があった。

(2) 校友会会長挨拶
校友会会長佐藤氏より、校友会の現状報告があった。

(3) 自己紹介
大学時代の思い出話を含めた近況報告があった。

(4) 大学の近況報告
校友会事務局宮本氏より、大学の近況と課外活動、入試、就職等の報告があった。

(5) その他
支部長伊関氏より、毎回会場は釧路になるが、東北北海道地区は、関東6県を合わせた面積より広く、根室、帯広から釧路まで車で2時間、北見、網走からは4時間強もかかり、地理的事情から遠方からの出席がなかなか大変なこともあるなか、今回は札幌在住(車で5時間)の北海道支部長林氏や福津氏、帯広から武者氏にも参加していただいたことに感謝しつつ、今後も継続して参加者を増やす努力をしたいとの話があった。
引き続き懇親会に入り、大学時代の思い出や苦しかった下宿生活の話などで盛会に終了した



校 友 の 広 場

北海道支部総会

9月12日
札幌東急REIホテル

出席者
稲田 靖直（1期）伊関 義和（5期）納谷 雅人（6期）島 不二彦（7期）
林 康夫（7期）守谷 悌（7期）久保 裕史（9期）福津 博巳（14期）
名井 敏哉（16期）大類 陽介（40期）
松村 良（46期）
校友会本部より田中副会長（4期）

内容
冒頭
田中副会長より大学創立50周年の記念行事及び、大学・校友会の現状について説明をいただいた。当会は、ここ数年10期以降の卒業生の出席が無く、平均年齢が右肩上がりであったが、今回14・16・40・46期の4名の初参加があり、懇親会も大変盛況であった。
追伸
40期の大類さんより、札幌で流経大ラグビー部の試合（東日本クラブ選手権）があるとの情報をいただき、総会当日有志で応援に駆け付けた。（惜しくも・・・）

北海道



岩手支部総会

11月14日（土） 16時から
ホテルメトロポリタン盛岡

報告者 岩手支部長 高橋 憲一（2期）
総会
17期 荒澤成彦の進行で総会開会
挨拶
2期 高橋支部長より参加者への謝辞並びに岩手支部における会員の状況、返信状況等について挨拶をした。
来賓祝辞
本部 田中副会長より最近の大学の状況、特に創立50周年記念式典における島田前学長等の功労・各大学との交流・諸外国大学との連携・地域における貢献等、並びに少子化に向けての今後の諸問題等を含めて挨拶を頂いた。

協議
決算報告並びに予算（案）について協議し原案どおり可決された。
支部長については、現状どおりとの意見もあり改選には至らなかったが、副支部長・事務局・会計等の改選も含めて現状について問題もあり今後若返りを図る方向で課題とした。
支部長より協議不足の点は懇親会で協議し、まず交流を図ろうと提案し総会を終了した。
乾杯
4期 佐々木健司の音頭により乾杯し懇親会に入った。
予定時間を大幅にオーバーし懇親を深め有意義な懇親会となった。
当然のように2次会に入り楽しい一時をすごしたが、報告者もこの先は酩酊となり報告不能

四国支部総会

11月7日 12時～
ホテルサンルート瀬戸大橋

田中副会長からの報告
四国支部総会、無事盛大の内に大変フレンドリーに開催できました。
徳島から濱田さんにも駆けつけて頂き、みなさん喜んでおられました



校 友 会 の 広 場

近畿支部総会

11月21日 16時～
ホテルグランヴィア大阪

【出席者】（敬称略）

藤裕正人支部長（1期）浅田新治（1期）小川諄（1期）佐澤徹（1期）鷺尾彰一（1期）森田好昭（2期 皿谷善一（3期）村田卓真（3期）福島勝治（4期）黒葛原博（5期）溝手至（7期）太田秀樹（11期）春名匡（25期）石津弘徹（30期）久下淳（30期）關修人（37期）田中副会長（4期）齊藤事務局（7期）藤裕支部長挨拶
今回20名弱の出席となったが、近畿支部会員の10%が参加するように協力し合っていた。大阪での開催となると和歌山県からの出席がない。その辺も工夫しながら企画したい。来年は和歌山県で宿泊型の総会も案として考えている。



Copyright(C) 流通経済大学校友会 All Rights reserved.

田中副会長

11月13日に開催された「流通経済大学創立50周年祝賀会」について。600名を超える出席者。ポルトガルの大学関係者を含め大勢の方からお祝いの挨拶を戴き、盛会であった。

齊藤事務局

校友会の現状と大学の今日について。学生数、女子学生の割合、運動部の活躍など説明があった。

森田好昭氏より

同じ日に、陸上部一部昇格記念祝賀会（品川区ガーデンシティで開催）

前身の陸上同好会立ち上げについて、棒高跳びでケガをして種目を変えて3段跳びで茨城選手権に参加、入賞したエピソードなどのお話があった。

懇親会

同ホテルで部屋を変えて懇親会となり、各自、席を移りながら流大時代の話や、流大スポーツの活躍などで盛り上がった。藤裕支部長の行きつけのお店で、2次会、3次会と楽しい時間を過ごしました

九州北部支部総会

11月14日 土曜日
ホテルクリオコート2階

平田支部長より

大学創立50年の年でもあり、出席者を多くしたかったが人数的に昨年より少ない総会となった。場所や開催月に考える必要性も感じる。特に佐賀、長崎大分からの出席者を増やすことは課題。また、校友会支部旗は北九州となっているが、北九州と言うと北九州市の支部のイメージがあり作りかえる方向とした。

齊藤事務局より

大学の今日について。在校生数、女子学生の割合、新松戸キャンパス新校舎の説明。校友会の今年の活動についての解説があった。

懇親会

前日、黄綬褒章を受章されました1期生の三嶋隆夫氏も合流し皇居での様子、ラグビー（翌日が東海大戦）や各運動部の活躍の話などで時間の経つのも忘れ盛り上がりました



Copyright(C) 流通経済大学校友会 All Rights reserved.

編集後記

昨年度後半から今年度前半にかけては創立50周年記念事業関係作業の比重が多くなりました。大半の幹事は会議での事業内容の検討、審議作業でした。一部役員、幹事、事務局は日常作業としての実務作業となりますのでその負担は大変な事とご察し致します。また実施する事業内容がハードよりソフトの方に重きを置いたものとなりました。対象が人間で、施策が補助金、支援金、応援金などです。対象のピックアップ、絞込み、審査などの作業が必要となります。ハードなら物品の購入、設置、寄付など一時的な作業で済んだかもしれません。しかし在校生、OBの各種育成支援という将来をめざした施策を選びました。実施作業上の負担が格段に増えました。しかしすべての役員、幹事はその役割に沿いより良いものものにするべく作業を担い事業を推進したいと考えております。

また、支部総会も50周年記念に合わせて活発に交流を図るという本部の方針のもと多くの地域で開催されました。数年前に比べれば格段の盛況振りといえるでしょう。これも会員、幹事の努力の結果であると、喜ばしいかぎりです。活性化実務面で目立ったことは少数会員地域でも広域支部管理、出先支部管理として柔軟に対応し、隣接重点支部の幹事諸氏が働きかけに努力され従来手薄だった地域の会員とも交流をもつことができたことでしょう。日本全域にネットワークが形成されました。校友会としても50周年を迎えて感慨深いものがあります。会員皆様とともに喜びを分かち合いたいと思います。

s 生記